

木質バイオマスや畜産ふん尿活用の内容、状況及び今後の考え

環境部地域エネルギー課

1 木質バイオマス

(1) 内容・状況

昨年度、兵庫県は「北摂里山地域循環共生圏」構築事業の一環として、環境省の「地域の多様な課題に応える脱炭素型地域づくりモデル形成事業」の補助採択を受け、「北摂里山地域の木質バイオマスの有効利用事業」を実施し、主に次の取組を行いました。

- ・西谷地区の県有林の木質バイオマス賦存量の調査 ※866ha、二次林(広葉樹)8万t
- ・西谷地区の森林管理計画の策定に向けた調査
- ・環境 NGO・森林ボランティア団体の活動調査
- ・事業モデルの検討 ※木質チップボイラーの燃料を生産する事業

西谷地区においても、地域住民が木質バイオマスを有効に活用することで、里山を適切に管理しつつ、地域の活性化につなげようとする意識が醸成されつつあり、市としても、県、市、地域住民、(公財)地球環境戦略研究機関、エネルギー事業者などとともに、西谷地区において、次の勉強会等を開催しました。

R2. 11. 21 西谷地区まちづくり協議会 バイオマス勉強会・関連事業報告会

R3. 1. 24 木質バイオマス総合研修会(小型チップパーによる実演)

R3. 3. 20 木質バイオマスの有効利用事業調査結果報告&意見交換会

(2) 今後の考え

今年度、県は、(公財)地球環境戦略研究機関を共同申請者として、環境省の「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」(再エネの最大限の導入の計画づくり及び地域人材の育成を通じた持続可能でレジリエントな地域社会実現支援事業)の補助事業に応募しました。

今後、県は、森林経営計画の作成、森林管理体制の構築、事業運営母体の立ち上げなど運営体制の構築に取り組む予定であり、市としても、県、地域住民、エネルギー事業者とともに、事業化に向けた検討を行います。

2 畜産ふん尿

(1) 内容・状況

令和元年度に行ったバイオガス発電設備導入可能性調査の結果説明及び意見交換会を、昨年度、西谷地区等で開催しました。酪農家はプラント導入に関心を持っていますが、導入の主体となることは表明していません。農家は、消化液への関心はありますが、積極的な動きはありません。地域はバイオガス発電に一定の関心はありますが、木質バイオマス事業の検討を優先しています。

(2) 今後の考え

木質バイオマスの有効活用を考える勉強会等が地域で開催されており、地域資源活用の検討の場が形成されつつあるため、今後、畜産ふん尿の活用についても、意見交換を行い、検討していきます。